

教師教育者のための セルフスタディ

—研究の歴史・思想から実際まで—〔1〕

セルフスタディとは、協働的に自らの教育実践を探究し発展させることを目指して行われる研究の国際的な方法論です。本シリーズでは、教師教育を切り口にして、日本においてセルフスタディをどのように受容し展開すべきかを、その歴史・思想と実際から検討していきます。

2020. **10.4** (日)

14:00-15:30

オンライン会議Zoomを使用します

■ スケジュール

導入 (アイスブレイクと事前調査の結果紹介)

セルフスタディの目的・方法

齋藤真宏 (旭川大学) ・大坂遊 (徳山大学) ・渡邊巧 (広島大学)

セルフスタディの実践事例紹介 同上

指定討論 武田信子 (元武蔵大学) ・草原和博 (広島大学)

全体討論 草原和博 (広島大学)

【主催】 広島大学教育ヴィジョン研究センター (EVRI)

【共催】 『セルフスタディをどのように行うか—教師教育者による研究と専門性開発のために—』出版準備グループ
(編者・齋藤真宏・大坂遊・渡邊巧・草原和博)、科研_基盤研究(C)「先生の先生」をいかにして育てるか—
教師教育者の専門性開発— (研究代表者: 草原和博_18K02669)

教育ヴィジョン研究センター (EVRI)



Tel & Fax : 082-424-5265 Email : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

左のQRコード等からお申し込みいただけます

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡いたします